

泊発電所

平成23年東北地方太平洋沖地震の 知見等を踏まえた原子力施設への 地震動及び津波の影響に関する 安全性評価実施計画書

平成23年11月18日

北海道電力株式会社

目 次

1. 概 要	1
2. 評価項目及び評価手順	2
3. 検討工程	2

1. 概 要

平成 18 年 9 月 19 日付けで原子力安全委員会により「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」が改訂され、当社は、平成 20 年 3 月 31 日に泊発電所に係る「発電用原子炉施設に関する耐震設計審査指針」の改訂に伴う耐震安全性評価の中間報告書を提出し、中間報告書に係る審議が行われた。

その後、平成 23 年 3 月 11 日の東北地方太平洋沖地震の発生により、中間報告書に係る審議が中断されていたが、平成 23 年 11 月 11 日に、泊発電所の安全性評価における以下の課題に対する検討の指示文書が発出された。

○平成 23 年東北地方太平洋沖地震において想定以上の地震セグメントの連動が発生したことを踏まえ、適切な震源及び波源を用いた解析を行い、当該解析から想定される地震動及び津波に対する泊発電所への影響に関する評価

泊発電所については、敷地前面の海域において、長さ 10 キロメートルから 40 キロメートル程度の複数の断層が雁行しており、平成 23 年東北地方太平洋沖地震において想定以上の地震セグメントの連動が発生したことを踏まえ、それらの断層の連動を考慮して地震動及び津波の評価を実施する必要がある。

本計画書は、「指示文書」を受けて当社がこれらの課題について実施する評価の計画について取り纏めたものである。

2. 評価項目及び評価手順

検討課題に係る地震動評価及び津波評価は、以下に示す手順に従って行う。

泊発電所の敷地前面の海域において、断層の連動を考慮した適切な震源及び波源を用いた解析を行い、当該解析から想定される地震動及び津波に対する泊発電所への影響に関する評価を実施する。

3. 検討工程

地震動及び津波に係る安全性評価の実施工程を表1に示す。

地震動及び津波に対する泊発電所への影響に関する評価は、評価手順に沿って検討を実施し、平成23年12月下旬に中間的な報告を行い、平成24年1月に最終的な報告を行う。

なお、この工程は評価の進捗等によって期間を変更する場合がある。

以 上

表 1 地震動及び津波に係る安全性評価 実施工程 (予定)

発電所名	工 程
<p>泊発電所 1 ～ 3 号機</p>	<p>▼ 平成 23 年 11 月 11 日 原子力安全・保安院指示文書</p> <p>平成 23 年 12 月下旬 中間報告</p> <p>▼ 平成 23 年 11 月</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #cccccc; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <p>地震動評価及び津波評価</p> </div> <p>▼ 平成 24 年 1 月 評価結果報告</p>

* この工程は評価の進捗等によって期間を変更する場合がある。